

## 《技術資料》

# 耐火ケーブルの電線管用と露出用について

耐火ケーブルの性能・試験方法は平成9年12月18日付け消防庁告示第十号「耐火電線の基準」にて規定されています。これを受け、日本電線工業会規格（JCS）が以下のとおり定められております。

低圧耐火ケーブルの製品規格として、JCS 4506が制定されております。この規格の表1において、FP（露出配線用）とFP-C（露出配線及び電線管配線用）と明示されています。

また、ケーブルの耐火試験方法として、JCS 7502が制定されております。5項の表3で電線管用ケーブルは、露出用耐火試験（試験数2）と電線管用耐火試験（試験数2）の計4試験行うことが定められ、露出、電線管の2種類の評価を受けることが分かります。

低圧耐火ケーブルは登録認定機関（JCT）の認定試験を受け、認定されなければなりません。認定試験においては、JCS 7502の試験方法に従い、消防庁告示第十号およびJCS 4506に適合しているかが評価されます。なお、認定されたケーブルには以下のとおり表示されます。

トウロクニンテイキカン JCT ニンテイ FP ..（以下略）

または トウロクニンテイキカン JCT ニンテイ FP-C ..（以下略）

FP-C（露出配線及び電線管配線用）は露出配線及び電線管配線にご使用いただけます。

一般的に「電線管用」と呼ばれますが、露出、電線管の2種類の評価を受けており、あらゆる配線にご使用いただけます。